

旅客・貨物輸送を目的とする。

新王寺・田原本間 10.1km 単線、動力電気、軌間 1.435 m、明治 44・6・7 免許、大正 7・4・26 開業。田原本・桜井間 7.5km 単線、動力蒸気・ガソリン、軌間 1.067m、大正 8・11・19 および昭和 3・3・30 免許、大正 11・9・3 より、昭和 3・5・1 までに開業。田原本・桜井間は、昭和 19・1 より戦時中企業整備のため休止中。

3 運輸概況

年 度	昭 和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	2,014	1,943	1,984
人 キ ロ (千)	9,377	8,850	8,832
貨物輸送トン数(千t)	1	2	1
トン キ ロ (千)	11	20	7
旅客収入(千円)	26,761	27,477	38,351
貨物収入(〃)	1,059	1,259	697
運輸雑収(〃)	163	188	254
収入合計(〃)	27,983	28,924	29,302
営業費(〃)	27,511	29,108	29,776
営業利益(〃)	471	△ 185	△ 476
営業係数(%)	98	101	101

(原 功)

やまどめ 山留 根掘その他の工事の過程において、木矢板・松丸太等を用い、一時的に土砂の崩壊を防止すること。(尾崎 寿)

やまなしこうつう 山梨交通(軌道)

1 事業者の概要

名称 山梨交通株式会社、本社 山梨県甲府市橋町、資本金 10,000 万円、おもな事業 軌道業のほか一般乗合旅客自動車運送事業路線 569km。軌道従事員 188 人、保有車両電動客車 9、電動貨車 1 両。

沿革 大正 13・11 資本金 50 万円の甲府電車軌道株式会社を設立し、山梨軽便鉄道(会社設立明治 32 年、区間甲府・石和間 5.7km、甲府・鉢沢間 20.2km)から鉄道譲渡を受け営業開始した。昭和 5・5 山梨電気鉄道株式会社と改称、同 13・8 峡西電気鉄道株式会社に鉄道譲渡、同 20・5 山梨開発協会と合併して、山梨交通株式会社となり現在に至る。

2 軌道線

山梨県下において中央線甲府駅に連絡し、甲府駅前から甲斐青柳に至る延長 20.2km 単線、動力は電気、軌間は 1.067m で旅客運輸の軌道である。市内線甲府駅前・警察署間 0.6km は明治 37・4・15、また警察署前・相生町間 0.4km は昭和 5・4・25 特許を受けた併用軌道で、昭和 7・12・27 運輸開始した。西部線相生町・甲斐青柳間 19.2km (17.8km 新設、1.4km 併用軌道) は大正 15・8・11 特許を受け、昭和 5・5・1、同 7・10・13 の間に開業した。

3 沿線の観光地

小室山(甲斐青柳停留場)、櫛形山(倉庫町停留場)。

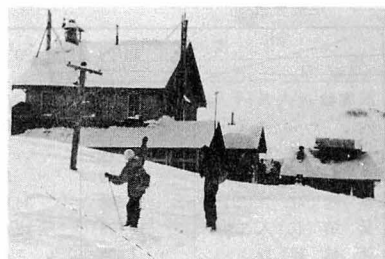


4 運輸概況

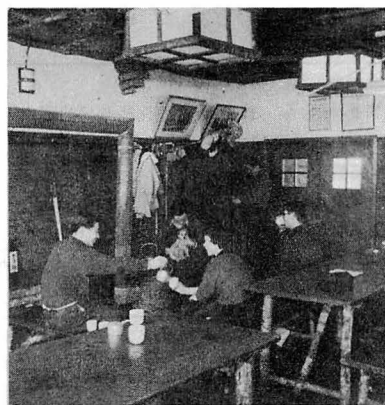
年 度	昭 和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	3,358	3,397	3,356
人 キ ロ (千)	34,079	118,895	218,880
旅客収入(千円)	66,679	65,189	63,498
運輸雑収(〃)	1,358	495	616
収入合計(〃)	68,037	65,685	64,114
営業費(〃)	62,626	60,888	64,055
営業利益(〃)	5,412	4,797	59
営業係数(%)	92	93	96

(石川 貢)

やまのいえ・うみのいえ 山の家・海の家(国鉄) 季節旅行を楽しむ旅行者に対するサービスとして、観光地に設けた国鉄所有の簡易宿泊所、または休憩所、登山・ハイキング・スキー客などの宿泊所として設けたものが山の家、海水浴客の休憩所が海の家である。山の家は、昭和 5・12 奥手稲に、海の家は昭和 4・7 逗子に初めて設けられたが経営は国鉄直営のものと、委託経営のものとなる。



1. 国鉄山の家(ニセコ)



2. 国鉄山の家内部(ニセコ)

山を代表するもの 北海道のニセコ・奥手稲、東北の八幡平・吾妻、上越の土樽・上の原、中部の志賀高原・蓼原・根の上高原、近畿の伊吹山、中国の道後山・大山。

海を代表するもの 関東の逗子・富津、中部の袖師・奥浜名・三河三谷・三河大島、関西の富田浜。(橋本外喜久)

やまのうちかずじ 山之内一次 第 3 代の鉄道大臣。鹿児島県の人。明治 23 年法政大学政治科卒業後、内務省に入り、内務書記官、県知事等を歴任、37 年通信省鉄道局長に転じ、鉄道国有の実現に大きな功績を残した (39・5 から 42・7 まで臨時鉄道国有準備局長を兼ねた)。40 年帝国鉄道庁の発足に際しては副総裁を兼ねた。41 年鉄道院となってからは理事となり、総務部長、運輸部長を歴任し、大正元年転官した。同 12・9 関東大震災の最中に組閣した山本権兵衛内閣の鉄道大臣として登場。在任五箇月。昭和 7・12・21 ぼつ。66 才。(中村英男)

やまのせん 山野線 鹿児島本線水俣駅から東南方の山野を経て肥薩線栗野駅に至る 55.7km の線。鹿児島線に属する簡易線である。大正 10・9 山野・栗野間開通、山野軽便線と呼称、昭和